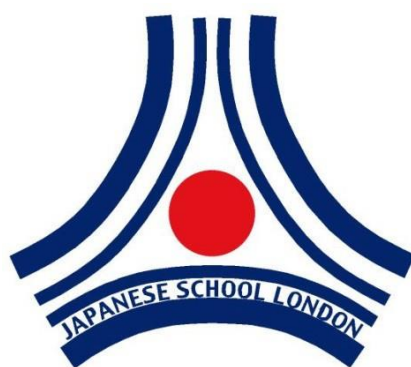


行動方針

日本人学校



承認済み

学校運営委員会

日付 2023年6月

最終レビュー日

2023年6月

次回のレビュー期限 2024年6月

バージョン番号	変更者	修正内容	変更日
1.1	K.西原	更新フォーマット	17/12/2020
1.2	K.西原	更新	01/04/2021
1.3	K.岡本	更新	09/05/2022
1.3.1	K.岡本	レビュー	01/06/2023

ドラフト、改訂版、最終版など。

はじめに

本方針は、ジャパニーズスクール（以下、当校）に通う児童生徒に求められる行動基準を定めたものです。

これらのガイドラインに従うにあたり、職員は常に分相応の感覚を保ち、状況に常識を適用し、自分自身と児童生徒の行動において最高水準を推進する必要があります。

目的

児童生徒たちは皆、礼儀正しく、親切で思いやりがあり、他人を思いやり、思慮深く振舞うべきである。児童生徒が上手に学習するためには、授業中の良い行動が不可欠であり、授業中の学習を妨げるような行動は許されません。校舎内や授業中だけでなく、遠足や見学の際にも、最高水準の行動が求められ、またそのことが強く要求されます。

また、道徳的、社会的、精神的な面で積極的な態度を奨励するパストラル的精神が強く根付いています。

このポリシーは、児童生徒が学校の敷地内にいるとき、または何らかの形で学校の世話になっているとき、登下校時、修学旅行時、または学校に関連する活動中、学校に関連するオンライン活動中、学校を離れて発生する可能性のある、学校コミュニティのメンバーまたはメンバーの福祉に影響を与える行為、または学校の評判を落とす行為を含む、すべての児童生徒に適用されます。

ガイドライン

校舎は、児童生徒が自分たちの環境に誇りを持ち、校舎周辺での適切な行動や校舎を尊重するように維持されるべきである。

カリキュラムと教室での体験の質は行動に大きく影響し、すべての職員は最高水準を推進する責任を負わなければならない。

学校は、機会均等のあらゆる側面が教師による業務に浸透するようにすべきである。この活動は、敬意と寛容な行動を促進するものでなければならない。

学校は児童生徒たちに大きな期待を寄せており、真面目に一貫して努力することが規範となっている。この努力は、試験での成功だけでなく、達成感によって報われるべきである。

教室の外でも、遠足を含むすべての充実した課外活動において、高水準の行動が求められます。

全スタッフの役割 全ス

スタッフは：

- 性別、人種、社会的背景、文化的な固定観念や思い込みがあることを認識する。
児童生徒の行動に対処する際には、注意を払う必要がある。
- いじめやハラスメントの兆候に注意し、学校の方針に従って迅速かつ毅然とした態度で対応する。
- 良い行動を促すために、児童生徒が責任を持つ機会を与える。
- 学業面でもその他の面でも、あらゆる能力を持つ児童生徒に対して、教師が褒めたり励ましたり

する報奨制度をフル活用する。

- 良い行いを積極的に強化し、悪い行いは口頭と書面の両方で評価する。
- 学校に来る権利を持つすべての訪問者を歓迎する環境を学校が提供するようにする。
- 制裁については、学校は除外していません。学校での成績だけでなく、児童生徒の素行不良についても、できるだけ早い機会に保護者に報告する。
- 保護者との積極的なパートナーシップを築く。
- 児童生徒の家庭での行動が学校での行動と異なる場合があることを認識し、子どもの行動について話し合う際には、そのことを考慮すること。
- 良い行動基準を維持し、可能であれば、子どもたちがその基準を向上できるよう支援する。
- 悪い行いを止めさせ、良い行いを促すために、いつでもどこでも行動する。

教室で教師は：

- 学習エリア（教室、研究室など）の規則を明確にし、なぜそれが必要なのかを年度初めに説明する。
- 時間を守り、十分な準備をし、レッスンの具体的な目標を持つことで、良い模範となる。
- 児童生徒のニーズに合わせて差別化された、やりがいのある授業を提供する。
- 仕事と行動に対して高い期待を持つ。
- 相互尊重を基本に、毅然さ、親しみやすさ、フォーマルさのバランスをとる。
- 様々な教育・学習方法を用いる。
- 良い仕事だけでなく、良い行動に対しても褒めたり、人前で肯定したりすることを効果的に活用する。
- 学級経営スキルは学ぶことができることを認識し、自分自身や他者のパフォーマンスを分析し、優れた実践を共有することに積極的になる。

児童生徒：

児童生徒たちは、学校コミュニティのすべての大人たちからの期待に応えます。

- 自分の学習に対する責任を共有する。
- 積極的に関与すること。
- あらゆる功績に対して報われ、公に肯定される。
- 仲間の良くない行動に対して積極的に行動する。

保護者：

- 変更について知らされている限り、学校がコミュニティとして達成しようとしているすべてのことをサポートする責任がある。
- 子どもの成績やしつけの不備について、常に知らされる権利を持つ。